

## 2月19日：VN指数は3日続伸後に反落

ベトナム株は金曜日にまちまちの動きとなった。テト休暇明けに二日続伸をしていたが、反落した。

ホーチミン取引所のVN指数は0.07%安の1,173.5ポイントで取引を終えた。上下はあれど上昇するというアナリストらの予想に反した展開となった。

バオベト証券は、VN指数はわずかに上昇することが見込まれる。しかしながら銘柄によってまちまちの動きとなるだろうと予想していた。

さらに指数はテト休暇明けの5日間に高確率で上昇すると考えられていた。木曜日にも午前中は下落した場面があったが、午後に入って反発した。

大型株が売られた。VN30指数は0.62%安の1,180.59ポイントで取引を終えた。30銘柄中22銘柄が下落し、6銘柄のみが上昇した。

出来高は5億7830万株、売買代金にして14.7兆ドンであった。

指数を押し下げたのは、ビンググループ (VIC) (-0.91%)、ベトコムバンク (VCB) (-0.69%)、ペトロベトナムガス(GAS) (-1.33%)、ビナミルク (VNM) (-0.92%)などだった。

一方、上昇したのはアジア商業銀行 (ACB)、BIDV銀行 (BIDV)、ベトナム国営ゴム (GVR) などであった。ACBは6.69%高の31,100ドンで取引された。BIDとGVRはそれぞれ1.61%、2.37%高となった。

ハノイ取引所のHNX指数は午前中に0.08%安の場面があったが最終的には0.1%高で引けた。

ハノイ取引所のHNX30指数は0.09%高の353.35ポイントで取引を終えた。

出来高は1億180万株で売買代金にして1.8兆ドンであった。

一方、外国人投資家は売り越し、ホーチミン市場で128億ドン、ハノイ市場で6億ドンを売り越した。

## ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。